

# スナメリ かわら版



大村湾の  
おすすめ  
スポット



大村湾に沈む夕日 長崎自動車道「大村湾パーキングエリア」(東彼杵町)より10ページ参照

大村湾の水産業 .....	2	3
がんばってます私たちのまち .....	4	5
環境コラム (閉鎖性海域) .....	5	
スナメリ最新情報 .....	6	
大村湾の生きものたち .....	7	
大村湾 声のひろば .....	8	
大村湾環境ネットワークに参加しませんか...	8	
情報ひろば .....	9	



# 大村湾の水産業の現状

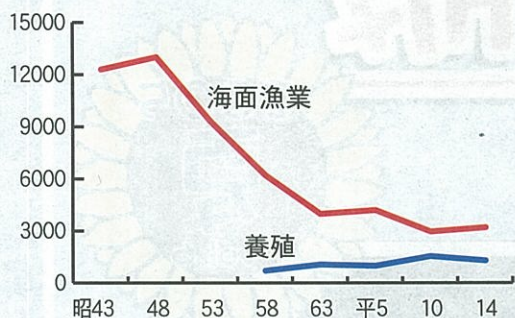
近年、漁獲量が減ってきていますが、ナマコの種苗の放流など資源管理型の漁業への取り組みがすすめられています。



# 大村湾の水産業

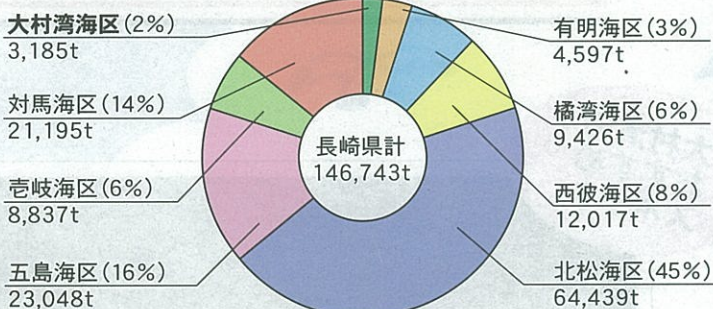
大村湾海区の漁業生産量の推移(海面漁業・養殖)

生産量(トン)



長崎県の海区別生産量の比較

(平成14年度)



資料「海面漁業生産統計調査」九州農政局長崎統計・情報センター

※大臣許可漁業を除く  
海区別の生産量は四捨五入後の数値

# 大村湾“印”の特産品

大村湾で獲れるうみの特産品です。

## クマエビ

クルマエビ科に属し、アシアカ、赤えびとも呼ばれます。

水深15~25メートルの砂泥地にすみ、夜行性で、貝類やゴカイなどを補食します。

大村湾では大きいもので体長20センチに達し、漁獲量は近年増加しています。

(漁期)夏、秋

(漁法)小型底びき網



## イイダコ

体長は20~30センチと小型で、腕の付けねに金色に縁取られた紋があるのが特徴です。冬~春頃になるとメスの卵巣が大きくなり、からだいっぱい卵が詰まってきます。その卵が米粒に似ていることから、「飯蛸」の名がつけました。(漁期)春 (漁法)たこ壺、たこカゴ

## アオリイカ

別名、ミズイカとも呼ばれ、寿命は1年です。生まれたときは5ミリほどですが、その後は月に4~5センチも急成長します。普通は15キロ程度に成長しますが、大きいものでは4キロほどにもなります。

(漁期)春、秋  
(漁法)刺し網



## ナマコ

体の色で、アカナマコ、アオナマコ、クロナマコと呼ばれるものがあります。

いずれもマナマコという同一種です。大村湾のナマコは身がやわらかく、特産品のひとつです。

(漁期)冬

(漁法)ナマコ桁網、鉾突き



## シャコ

砂泥に浅いU字型の巣穴をつくってすみ、メスは巣穴の中で産卵し、卵がふ化するまで守ります。エビや二枚貝を餌にしており、二枚貝を食べるときには前足を折りたたみ、肘打ちをするように、貝殻をたたき割ります。

(漁期)夏

(漁法)小型底びき網、カゴ漁



## 生産量アップ大作戦

水産資源の拡大をめざして種苗の放流や漁場の整備がすすめられています。



クマエビの種苗の放流風景



漁場の整備状況

海底に石を積み重ね、漁場として整備します。そこには、ナマコの幼生が定着し、生産量の拡大につながります。

## むかしと今



でも、生活が便利になり、大村湾の風景が変わっていくのにあわせて魚の数も少しずつ減ってしまいました。それでも、大村湾でとれる魚は、外海でとれるものとは、まったく違います。塩分の違いからでしょうか、やわらかくて、とても味がよいです。どうぞ、大村湾のイカ、タコを食べてください。



浦 増次さん  
(東彼杵町在住)

私が漁師になったのは、15才になる年だったと思います。その頃の大村湾は、5キロを超えるようなマダイがとれたり、イワシで家が建ったとか、漁師になれば一生生活には困らないといわれていた時でした。

養殖は自然が相手です。良い真珠をつくるには、まず、良い母貝をつくることから始まります。それには、母貝となるアコヤ貝の生態を勉強し、その環境にあったものを育てることです。



大村湾は、地形や環境が真珠の養殖に適していて、以前は三重県の英虞湾に次ぐ生産量がありました。そして、真珠の光沢、色、加工のしやすさ等、その品質は、全国でも有数のものでした。

残念ながら、出荷量は、最盛期からすると、ずいぶんと少なくなりました。

けれども、真珠は今でも大村湾の特産品のひとつです。



川口 泉さん  
(長与町在住)

がんばってまいります私たちのまち  
大村湾を元気にするために、私たちもがんばっています。

## 「環境フェスタinハウステンボス」

みんなで環境問題について考え、お互いに交流を深めることを目的に、「環境フェスタinハウステンボス」を開催します。メインイベントである「第4回「みゼロ推進全国大会」のほか、家族の皆さんと一緒に楽しく環境のことを学べるさまざまな催しを準備しています。皆さん、お気軽にご参加ください。

【と き】平成17年10月21日(金)～23日(日)

【ところ】ハウステンボス(佐世保市)

【内容】○第四回「みゼロ推進全国大会」

○スナメリ共生シンポジウム

○廃棄物学会市民フォーラム

○スナメリウォッチング

○大村湾フローティングスクール など

## 長崎県

(担当者より)

当日は、「古紙から作ったおもちゃのテーマパーク」、「こども向け環境実験」など、ご家族そろって環境問題について学習できるものも企画しています。詳しくは次号のスナメリかわら版で紹介いたします。

きれいな水を川へ海へ未来へ

## 「いさはやエコフェスタ」

諫早市では、川や海を汚す大きな要因の一つである生活排水について、市民のみなさんい知っていただくため、平成十二年度から毎年「いさはやエコフェスタ」を開催しています。

昨年開催された「いさはやエコフェスタ」には千名を超える市民の皆さんに会場いただき、クイズラリーや市民エコライフコーナーの実演・体験コーナーでは多くの参加者で賑わいを見せました。

○ポスターコンクール

環境についてのポスターを市内小中学校に募集し、百六十一名の応募があり、特選2点、入選10点が選ばれました。

○市民グループ等による「市民エコライフコーナー」

巨大テントで、環境問題に取り組む市民団体等の活動内容の紹介や啓発資料の配布を行い、また気軽に参加してもらえる実演・体験コーナーを設けました。

○環境にやさしいフリーマーケット

全20店で開催。思わぬ掘り出し物に、皆さん大喜びでした。

○環境クイズラリー

多くの参加者が、すてきな景品を目指し市民エコライフコーナーの各ブースや諫早の観光名所に設けられたクイズにチャレンジ。子供たちも大喜びでした。

(担当者より)

今年も10月に開催を予定しています。さらに楽しくためになるイベントにしていきたいと思えます。



(昨年のいさはやエコフェスタのようす)

## 諫早市

## 東彼杵町

### 種ナマコの放流について

〜 獲る漁業からつくり育てる漁業へ 〜

ナマコは大村湾沿岸漁業の主要漁獲物です。近年、大村湾の閉鎖性海域では水質汚濁等の影響により、水揚げ高の減少が続いています。

このため、種ナマコの放流(毎年2000kg)による資源の保護に努めるとともに、ナマコの生息・繁殖する漁場の整備として自然石の投入が行われています。

このような種苗の生産・生息環境の整備を図り、獲る漁業から資源管理型漁業・つくり育てる漁業へと取り組みがなされています。



(ナマコの種苗の放流風景)

(事務局より)

県、流域の市町、各漁協では、ナマコのほかエビ、ヒラメ、カサゴ等の稚魚の放流を行い水産資源の拡大に向けて努力しています。

## 環境コラム

### 閉鎖性海域

大村湾は佐世保湾をへて外海とつながっています。

湾内の水が入れ替わることができるのは、川のように幅が狭い早岐瀬戸と針尾瀬戸に限られていて、水の入替わりが起きにくくなっています。

このような海域ではひとの社会経済活動に伴う水質の悪化、いわゆる富栄養化の現象がみられます。

富栄養化が進むと、赤潮や貧酸素水塊の発生による漁業被害をはじめとする環境保全上の問題が発生するほか、レクリエーションや景観上にも悪影響がでてきます。

このため、県や市町では下水道等の生活排水処理施設の整備を進める等、環境を守るための事業を行っています。

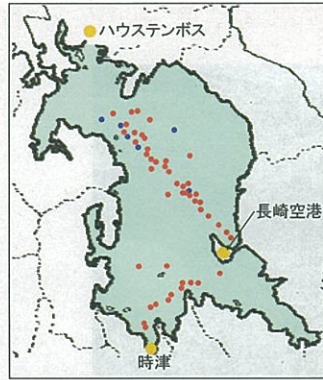


(空から見た大村湾)

# スナメリ最新情報

スナメリの最新情報を報告します。

## スナメリ目撃情報



スナメリ目撃情報

安田産業汽船株式会社は、大村湾の中にたくさんのお客さんをお送りしています。上の図の●は、4月下旬から5月上旬の約20日間に、定期便の船長さんによって目撃されたスナメリの発見地点です。(●はイルカ) みなさんも船に乗ったら、スナメリをさがしてみてくださいね！

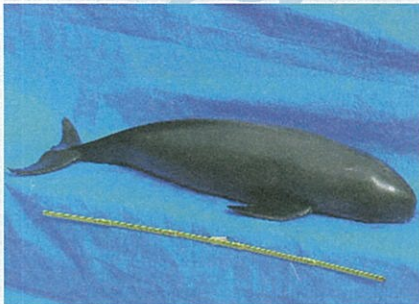
## スナメリシンポジウム準備室



シンポジウム会場

今年の10月22・23日の両日、ハウステンボスにおいてスナメリシンポジウムが開催されます。当日は、講演会、『スナメリウォッチング』が行われる予定です。詳細については決まり次第、『大村湾のスナメリ』ホームページなどでお知らせしていきます。ご期待ください！

## はく製作り、進行中



西彼町で見つかったスナメリ



専門家により解剖・検査されて剥製になります

春号の最後のページでお伝えした死んだスナメリ、現在、西海パールシーセンターが、はく製作の骨格標本を作成中です。標本ができた次第、パールの展示ですよ。楽しみに！



中村夫妻と連風

“あがった”スナメリ凧

5月15日、時津町にて、NPO法人「タスクフォースおりの」の主催で、“世界一の凧揚げ名人”中村清光氏による連風上げイベントが行われました。スナメリ凧もあがりましたよ！オンラインは、今後も大村湾の環境に関連した活動を続けていく予定です。

## スナメリ凧が上がりました

さらに詳しい情報はこちらをご覧ください。「大村湾のスナメリホームページ」

<http://www.pref.nagasaki.jp/sizen/4sunameri/index.html>

上記アドレスの代わりに日本語で“大村湾のスナメリ”と入力してもOKです。

# 大村湾の生きものたち

昨年度は、大村湾の希少な動植物としてスナメリ(春号)、カブトガニ(夏号)、ハマボウ(秋号)を紹介しました。大村湾には人目に付きにくい小さな生物にも、希少なものが多く生息しています。



チクゼンハゼ

全長5センチ程度の小さなハゼの仲間、内湾や河口域の砂泥底にみられますが、全国的に生息域が減少しており、環境省のレッドデータブックでも絶滅危惧種にランクされています。長崎県内では大村湾を含めて3ヶ所の生息地が確認されています。

これらの生物は、いずれも干潟や汽水域という失われやすい環境に生息しています。これらの希少な生物を育む大村湾を、これからも大切にしていきたいものです。



カワスナガイ

甲羅の幅が1センチ程度の小型のカニです。日本各地で絶滅が心配されており、多くのレッドデータブックで絶滅危惧種や絶滅寸前種にランクされています。平成16年度の調査によって、大村湾の河川汽水域には広く生息していることが確認されました。

\*写真は全て、深川元太郎氏(長崎県生物学会)による。



オキヒラシノミガイ

九州西岸と山口県に分布していた貝類ですが、九州では福岡や熊本ですでに絶滅しており、山口でも危機的な状況とされています。平成16年度の調査によって発見された大村湾岸の個体群は、極めて貴重と言えます。

# 大村湾の声

今回は琴海町にお住まいの佐木杏子さんよりお便りをいただきました。

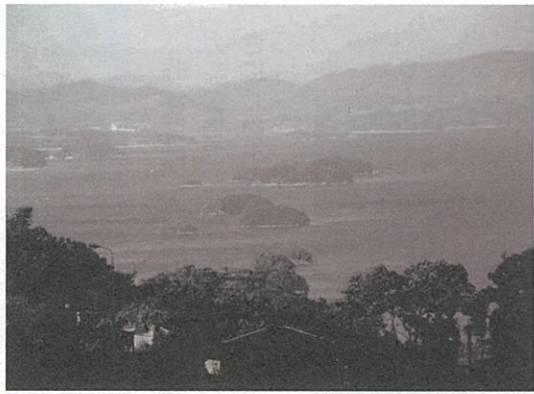
## 大村湾の思い出

「ケガばした事は、お母さんに言うたらだめやっけんね」7才の私はひとつ年下の妹にそう約束させました。

昭和45年春、櫓こぎの小舟で女の子ばかり4人、大村湾にこぎ出した私たちの冒険は30分後、私の妹がカキ殻をふんでけがをしたことで、あっけなく幕をとじました。今考えると、自分の子どもには絶対にさせない事ばかりを楽しんでやっていたと思います。もちろん親に黙って。

いつも遊びの場所が海辺でした。貝掘り、ミノ取り、タコ引き、季節が変わってもいろいろな実りを海は私たちに与えてくれます。小さい頃からそれがあたりまえと思っていた事が、実はとても素敵な暮らした事を楽しまさらながら感じています。

二〇〇五年春、中学生と小学生の息子たちは、サビキでアジ釣り、ルアーでシーバス釣りを楽しんでいました。いつかこの子どもたちも大村湾での情景を懐かしく思い出すことがあるでしょう。母と同じように。



妹の足の裏には、きつとあの時の傷跡が小さく残っていると思っていたのですが、何も残っていませんでした。そして妹自身ケガをしたことを忘れていました。私は心配して今でも忘れられずにいると言っのに。

このコーナーでは大村湾に関する環境情報や話題などを募集しています。

# 大村湾環境ネットワークに参加しませんか

「大村湾環境ネットワーク」とは、大村湾が大好きな人、大村湾のために活動している人などが、いろいろな情報を交換したり、一緒に活動したりするための「場」として設置するものです。お便りやだれでも参加できますし、参加費は無料です。

## 参加すると

- ① インターネットや情報チラシなどで、大村湾に関する情報や他の団体などの活動の情報を入手することができます。
  - ② 事務局に活動内容などを投稿することにより、ネットワーク会員の皆さんに情報を発信することができます。
  - ③ 情報交換会などで多くの人と知り合うことができます。
  - ④ 将来、大村湾のいろいろな問題に関する勉強会や研究会に参加することができます。
- 又、勉強会や研究会の成果をとおして、県や市町に政策のアイデアなどを提案することができます。

## 参加するには

次の事項を郵送、FAX、E-mailのいずれかで、県環境政策課までお知らせ下さい。

- お名前
- 住所
- 電話番号
- FAX番号(ある場合)
- E-mailアドレス(ある場合)

(連絡先)  
 〒850-8570 長崎市江戸町2-13  
 長崎県環境政策課  
 大村湾環境ネットワーク担当あて  
 TEL 095-822-4721  
 FAX 095-820-4085  
 E-mail: omurawan@pref.nagasaki.lg.jp





# 情報ひろば



## 長与川まつり



**主催**  
長与町商工会 095-883-2145

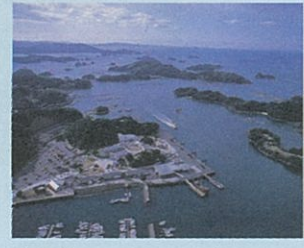
**とき**  
平成17年 8月21日(日)

**ところ**  
役場前にて、川まつりじ神事、長与川清掃、夜には、長与町ふれあい広場にて、出店、バンド演奏、花火大会

**とき**  
平成17年 8月3日(水)  
および4日(木)

**ところ**  
アルカス佐世保、西海パールシーリゾート、その他

**問合せ先**  
長崎県自然保護課  
TEL (095)826-6717



(西海パールシー)

## 第47回自然公園大会

「育てよう海と大地と輝く生命」

8月3日と4日の2日間、佐世保市で第47回自然公園大会が開かれます。3日の記念式典に続いて、4日には西海パールシーリゾート等にて、ヨットやカヤックなどのマリンスポーツ、無人島探検や自然観察会、水族館での飼育体験など、自然に親しむさまざまなイベントが行われます。



## 第3回アクアスロン in かわたな大会

**とき**  
平成17年 8月21日(日)

**ところ**  
**会場** 川棚町大崎海水浴場

**参加費**  
・一般の部・・・5,000円  
・ジュニアの部・・・1,000円  
(※保険料・昼食・参加記念品を含む)

**主催**  
〒859-3618  
長崎県東彼杵郡川棚町小串郷272  
川棚町観光協会 (0956-82-2661)



## 町民一斉清掃



**とき**  
8月21日(日) 7時～12時(予定)

**ところ**  
東彼杵町全域の海岸・河川・道路など

**問い合わせ**  
東彼杵町保険衛生課(0957-46-1111)



## 体験ペーロン

**問い合わせ先**  
長与町役場 地域政策課

**体験場所**  
大村湾内長与港

**利用時間**  
午前9時から

**期間**  
4月～9月

**利用可能人数**  
一艇26～28名

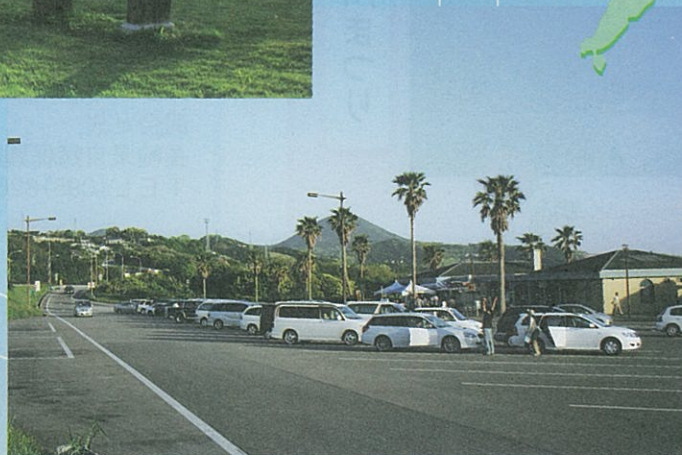
**利用料金**  
1人1,300円(1時間～2時間程度)  
要予約:1ヶ月前までに



大村湾のおすすめスポット



パーキングエリア内の展望所



長崎自動車道「大村湾パーキングエリア」(東彼杵町)

旧長崎街道に沿って走る長崎自動車道は、長崎県の基幹道路のひとつです。東彼杵町千綿地区にある長崎自動車道「大村湾パーキングエリア」，“ここから見る大村湾の夕日はすばらしい”とよく耳にします。

そのおかし、長崎街道を通った旅人も、しばしの休息をとりながら、この風景を眺めたことでしょう。西洋文化にみちみちた長崎での思い出は、大村湾の静寂のなかで旅人を感傷に浸らせたに違いありません。

今、パーキングエリアの展望所では、多くのひとが言葉少なに大村湾に沈む夕日を眺めていました。

大村湾周辺にお住まいの  
皆様の情報誌です。

スナメリ  
かわら版



平成17年8月発行  
編集・発行／長崎県環境政策課  
〒850-8570 長崎市江戸町2-13  
TEL095-822-4721 FAX095-820-4085

大村湾に関する環境情報を提供してください。

- 長崎県環境政策課 ◎電話 095-822-4721 ◎FAX 095-820-4085  
◎E-mail omurawan@pref.nagasaki.lg.jp
- 佐世保市環境保全課 ◎電話 0956-26-1787 ◎FAX 0956-34-4477
- 諫早市環境保全課 ◎電話 0957-22-1500 ◎FAX 0957-22-9137
- 大村市環境保全課 ◎電話 0957-53-4111 ◎FAX 0957-52-2705
- 西海市市民生活課 ◎電話 0959-37-0065 ◎FAX 0959-29-0050
- 長与町環境対策課 ◎電話 095-883-1111 ◎FAX 095-883-2061
- 時津町住民環境課 ◎電話 095-882-2211 ◎FAX 095-881-2764
- 琴海町住民環境課 ◎電話 095-885-2111 ◎FAX 095-885-3937
- 東彼杵町保険衛生課 ◎電話 0957-46-1111 ◎FAX 0957-46-0884
- 川棚町保健衛生課 ◎電話 0956-82-3131 ◎FAX 0956-82-3134
- 波佐見町住民課 ◎電話 0956-85-2111 ◎FAX 0956-85-5581